

施策評価シート【重点施策】

個別施策Ⅱ－（３）

子どもの健やかな成長を支援する

基本的な方向性

地域・保育所・学校において、育児支援、学習支援・施設整備、相談しやすい環境を整え、子どもの成長につながる機会・体制を充実します。

重要業績評価指標（KPI）

指標名	単位	実績値					31年度 目標値	進捗 状況
		計画 策定時	27年度	28年度	29年度	30年度		
子育て支援センター・つどいの広場の利用者数【年間】	人	57,138	58,164	64,066	62,680	61,223	65,000	C
介助員数	人	76	77	84	101	115	85	A

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・サン・サンスタッフ（学習支援補助員）を派遣し、学習・生活面で適切かつ細やかな支援を行い、落ち着いて学習できる環境や安全な授業体制づくりを補助しました。また、サン・サンスタッフ（学校司書）を派遣し、学習活動や読書活動の充実と学校図書館の整備及び充実を図りました。
- ・子ども教育相談センターとこども発達支援室が連携して、指導主事と臨床心理士、ことばの相談員等専門職員による就学移行支援のための学校巡回相談を全小学校にて2回行いました。
- ・介助員の派遣、研修会・研究会の開催及び相談支援チームの派遣により支援体制を充実することで子どもたちが安心して学校生活を送ることができました。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、いじめや暴力行為、不登校などの諸課題の解決に努めました。
- ・「港こども園」内や「金目保育園」内につどいの広場を開設し、子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の充実を図りました。
- ・全小学校の普通教室に空調機の設置を行うとともに、小中学校のトイレ環境全体の改善を含めた大規模改修を行いました。また、児童数増加に伴う、みずほ小学校の増築工事が完了しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・サン・サンスタッフの適正配置と質の向上が必要です。
- ⇒サン・サンスタッフ（学習支援補助員）は、小中学校の現場の実態やニーズを把握し、有効な人員配置とします。サン・サンスタッフ（学校司書）の新任者へ研修を実施し、質の向上を図ります。
- ・発達に課題のある子どもたちが適切な支援を受けられるよう、相談体制の充実や関係機関との連携を強化する必要があります。
- ⇒専門スタッフの充実を図り、学校巡回やカンファレンスにおいて、支援の方向性を十分に共有し、学校を始めとする関係機関との共通理解を深めます。
- ・インクルーシブ教育システムの構築に向けた介助員の派遣の在り方を検討していく必要があります。
- ⇒介助員の配置人数や雇用体系について検討し、適切な派遣を行います。
- ・児童・生徒の問題行動等の未然防止や早期解決に向けた対応及び支援が必要です。
- ⇒スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの効果的な活用を図るとともに、関係機関と連携体制を構築しながら適切な対応及び支援を行います。
- ・親子や親同士の交流の場の重要性が高まっており、地域で行う子育て支援活動を推進する必要があります。
- ⇒子育て支援センター及びつどいの広場事業の周知を図るとともに、既存施設の利用状況や地域の人口状況などを勘案して、つどいの広場の整備を検討します。
- ・施設の適切な維持管理を行う必要があります。
- ⇒優先度や緊急性を十分に検討した上で、効率的に小中学校の大規模改修や修繕等を実施するとともに、中学校の普通教室への空調機の設置を進めます。

関連する【取組】と（事業）

- 【さまざまな子どもの相談・生活助言や適切な支援へのつなぎ】（教育相談事業）（就学相談・指導事業）（スクールカウンセラー派遣事業）（スクールソーシャルワーカー派遣事業）（適応指導教室事業）（地域療育システム事業）（こども発達支援室改修事業）
- 【子育て家庭に対する育児支援を行うための地域子育て支援拠点事業の推進】（地域子育て支援推進事業）
- 【子どもたちの健やかな成長を支援し教育の効果を高める支援スタッフの派遣】（サン・サンスタッフ派遣事業）
- 【子どもたちが安心して学校生活を送るための支援員の派遣】（介助員派遣事業）
- 【子どもたちが快適に学校生活を送るためにエアコン設置及びトイレ洋式化の推進】（小学校施設管理事業）（中学校施設管理事業）（小学校大規模改修事業）（中学校大規模改修事業）